

2013 le 20 Octobre

高知日仏協会会報

FJK 30^e année!

1983年、ミッテラン大統領時代に呱呱の声。高知日仏協会は今年30周年を迎え7月25日、高知バリ祭で祝いました。83年(昭和58年)は、NHKのテレビ小説「おしん」が、かつて日本に貧困時代があったことを教える一方、東京ディズニーランドがオープン、多くの人々がテーマパークを楽しむことを知り、家族揃って楽しむゆとりも持ちました。30年の歳月は、つい昨日のようです。その間、高知日仏協会は決して派手な活動はありませんでしたが、日仏親善、文化交流に地道な歩みを続けてきました。フランスは遠くにありて、そして近くなっています。これからも着実に新たな友好の道を一が願います。



乾杯首頭▲
吉岡章・高知市副市長



あいさつ▲
佐竹茂市・高知日仏協会会長

友好発展へ誓い新た

30歳になりました——協会創立30周年記念「高知パリ祭」は、7月25日、高知市上町の城西館・日輪の間に、会員、家族、関係者約80人が参加して開いた。

アコーディオン奏者・坂野志麻さん(写真)によるオープニング・セレモニーの日仏両国歌「君が代」「ラ・マルセイーズ」演奏後、佐竹茂市会長が、協会発足30周年を共に喜びたいとしたうえで「協会も日本社会同様、高齢化が進み、この種の友好活動は役目が終わったとの見方があります。しかし、北東アジア諸

国との緊張関係があることから、一層、その他の東南アジア、欧州諸国と民間における友好関係の発展は重要視されています」とあいさつ。続いて尾崎正直知事の祝辞(別掲)が披露された。

30周年を記念して長年、高知日仏協会報に「家庭でフランス料理」を執筆している高知パレスホテルシェフ田中秀典さんに、佐竹会長が協会を代表して記念品を添え感謝状を贈り(6面に写真)、高知市の吉岡章・副市長の乾杯の音頭、坂野さんの「踊り明かそう」の軽やかなメロディーに乗って開宴。

坂野さんは、幼少時からピアノを学び、丸の内音楽科から武蔵野音大へ進み演奏活動を展開。2009年からアコーディオン奏者として各種イベントに参加する一方、バンド「クロパン・クロパン」を結成し、音楽教室も開設、高知、東京を舞台に活躍している。パリ祭では、シャンソンを中心に、トークを交えステージから各テーブルを回り会員とも交歓。ファイナルでは懐かしい「青い山脈」を奏で、参加者全員の合唱を誘い、年に一度の会員交流の場を盛り上げた。また30周年を記念して参加者全員に仏直輸入ワインが贈られた。(4面にグラフ)

なお、パリ祭に先立って総会で、2012年度決算・事業報告および13年度予算・事業計画が全会一致で承認された。

息の緒—ヨー・ウェパー=ディーデリクス展

12月8日まで香美市土佐山田町、ギャラリー「樹下の舎」(こしたのや)。ヨー氏(60)はフランスを拠点に活躍、日本の文化と宗教に親しみ、和紙とインクを使って魂の所在を追求する作品が注目されている。水曜日定休。入場無料。



マナーラ 佐竹会長がパネリスト

内を中心に研修中の仏国立東洋文化言語研究所(通称イナルコ大学)の学生28人を含む約100人が参加、高知日仏協会から横山隆一記念まんが館初代館長の佐竹茂市会長が出席した。

記念事業は、仏国立日本研究センターのクリストフ・マルケ所長の「フランス人を魅了した江戸のマンガから」と金沢美術工芸大の高橋明彦教授の「椽図かずおの魅力」を基調講演に始まり、「地方からのマンガ文化の発進」をテーマに、猛暑の会場でフォーラムが行われ、高知、鳥取、栃木・足利、富山、福井の各日仏協会長らがパネリスト(写真)に登場。妖怪伝説や仏教文化の影響を受けたマンガの地域起こし、観光開発が進む現状を熱く紹介。佐竹会長は「まんが王国土佐」と題し、土佐人の反骨精神が漫画家を日本一多く輩出する風土を作り上げてきていると説明。横山隆一記念まんが館、やなせたかし記念館(アンパンマンミュージアム)や海洋堂ホビー館四万十への来館を呼び掛け、県庁内のまんが・コンテンツ課の存在、全国の高校生による「まんが甲子園」なども紹介した。

このあと、日仏のマンガに対し金沢市内3大学とイナルコの学生の意見交換、さらに同公園内の五十間長屋で40周年記念パーティーが行われ、各地の日仏協会員が交流の夕べを楽しんだ。

フランス紀行IV

12月、谷口さんが個展

協会員で洋画家の谷口浄さんが12月5日から高知市帯屋町2、二宮ビル4F ギャラリー邦で「油彩個展—フランス紀行IV」(写真)を開く。

谷口さんは高知県庁OBで退職後、本格的に画業に専念し、ル・サロン金メダリストの山川茂さん(静岡県伊東市在住)に師事、これまでも数回個展を開き、その力感あふれたタッチが人気を集めている。今回は昨年5月から1か月半、ムッシュー山川に師事する仲間たちとノルマンディー地方の農家を借りて取材、仕上げた20点余を展示する。開催時間は午前11時~午後6時。同月10日まで。

学生の企業研修が縁 ヨーロッパ好みの私には珍しく、今年の夏はメープル産地で有名なアメリカのバーモント州ミドルベリーを訪ねました。娘、綾クレールがこの大学で夏の間、仏語教師として働いていたため、孫マエル悠太のお守り役というわけで、真っ青な空の下、広大な緑のキャンパスをマエルと散歩しながら、「私と高知日仏協会」のいろいろな思い出を頭の中に駆けめぐらしました。

私が今の職を持って30年以上がたちました。1982年にトゥール市に初のビジネスのグランゼコール、Ecole supérieure de Commerce de Tours (トゥール商業高等大学)が設立され、当初から日本語の教師として微力ながら大学の発展に努めてきました。大学の名前も何回か変更し、今年1月からFBS (France Business School) と改名し、仏国内5か所(トゥール、ポアチエ、アミアン、プレスト、クレルモン)にキャンパスを拡大しました。私はトゥールのジャパンセンター所長として大学協定、企業研修、日仏文化交流を任されています。偶然なことに、高知日仏協会も同時期に創立されたわけで、私個人の歴史と日仏協会の歴史が同時進行するとともに接点が幾度となくあったことを思うと感慨深いことです。この期間に、上智、立命館、明治、立教、関西、同志社等9大

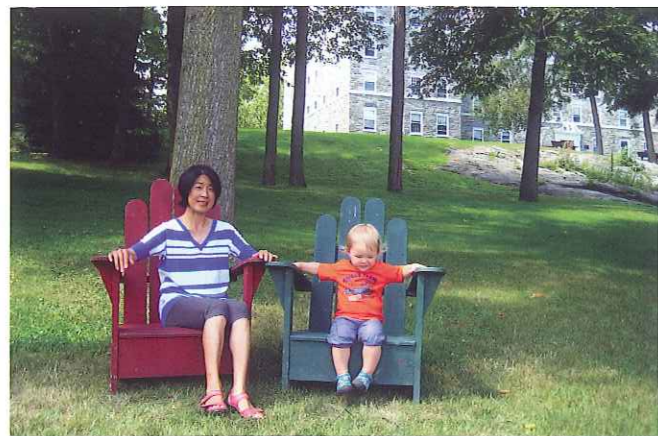
私と高知日仏協会

FBSジャパンセンター所長
Yoko Remon



学と協定を結び、企業研修も600人以上の学生が日本での貴重な体験をしました。企業研修に関

歴史を共有—大好きな高知の人々



孫のマエル悠太君と筆者レモン洋子さん

しては、トゥール市と高松市が姉妹提携しているご縁から、1995年に佐竹会長にお目にかかり、仏学生のインターンシップの斡旋をお願いしました。そして翌96年から現在に至るまで高知市で毎年6月から8月まで学生たちがお世話になっています。高知で企業研修を体験した24人の学生のうち4人は東京の企業に就職し、3人はアジアで活躍しています。高知での2か月間の生活が若い青年たちの将来の道を決定する大きな歯車になっていることを象徴しています。

もう一つの思い出は2002年に横山隆一記念まんが館とアングレアムまんが館が交流協定を結んだことです。この記念すべき日には当時のアングレアム市長夫妻、助役、そしてまんが館長に随行し通訳をしました。またこの年の前後には何度か高知市のミッションに同行し、交流協定の提案、交渉等のお手伝いもさせていただきました。

佐竹会長が協会25周年に向けて〈始めることは容易いが、続けることは難しい〉という内容のことを仰しゃっていましたが、私もこのお言葉に共感し、私自身、子供たちに日本語を話してもらいたい一心から1989年にトゥーレーヌ日本語教育協会を開きました。最初は何をやっても目新しく、新聞、テレビにも取り上げられましたが、時が経つとアイデアに欠け、協会自体もマンネリ化し、大変苦勞しました。私は会長を引退しましたが、この協会は皆様の協力の下、細々ながら継続しています。高知日仏協会におかれましても細く長く活動していかれることを応援いたします。

私は仕事上日本のいろいろな都市に行く機会がありますが、その中でも私は高知人が大好きです。情があって、強そうでいて優しく、そして酒飲みで…これからも長いお付き合いができますことを心より祈り、Longue vie à l'Association Franco-japonaise de Kochi! Félicitation pour sa 30e année!



同性婚法案を可決

仏、事実婚も増加一途

夫婦別姓は「憲法の保障外」事実婚の夫婦らの訴えに対し、東京地裁は請求を棄却する判決を言い渡しているが、別姓どころかフランス国民議会（下院）は今春、同性婚解禁法案を可決、成立させた。法案は性別を問わず結婚の権利を認め、同性カップルによる養子縁組を可能にする内容。合法化を決めた国としては世界で14番目となるが、仏では99年に成立した民事連帯契約法で同性でも事実婚として登録すれば、結婚した夫婦と同じ社会保障や税の控除が認められている。同国にとっては81年の死刑廃止以来の大きな社会制度変革となる。

同性婚解禁は昨年5月に就任したオランダ大統領の公約で、その大統領も事実婚の一人。6月、国賓として初来日時に伴ったパートナー、バレリー・トリルベレルさんがファーストレディーの接遇を受け、ファッションと共にそのフランス流が目された。現在同国の非婚カップルは正式な婚姻手続きを経た夫婦の数を上回って（2009年人口統計）おり、今後ますます増加傾向のようだ。法案にはカトリック教徒らの反対運動も根強く、同法成立後、各地で賛成・反対派双方のデモや集会が繰り広げられた。

財政難にあの手この手——フランス政府は観光資源の古城や美術館など歴史的建造物のレンタルビジネスを本格化させる一方、パリの日本語新聞「オヴニー」によるとセーヌ川・グラネル橋近くの自由の女神像を売りに出し、パリっ子を驚かせた。

自由の女神像は、ニューヨークのハドソン川河口に建つアメリカ独立100周年を記念してフランスから贈られたのが有名だが、セーヌ川像はこの時のオーギュスト・バルトルディの制作模型。パリ在住米国人が1889年仏革命100周年を記念して贈り、パリ万博に合わせ現在地に建った。女神像のレプリカは世界各地にあるが、この由緒ある像に破格の値段がついたのか、どこへ行ったのか？



自由の女神像売りに

さてレンタル。今春同国の「国有資産機構」が打ち出した。マリール・アントワネットが処刑前の最後の日々を過ごした元監獄「コンシェルジュリー」、1975年初の先進国首脳会議（サミット）が開かれた「ランブイエ城」、ユゴヤデュマら文豪が集まったサロンが残る「アルスナル図書館」など50か所で、それぞれ撮影や貸し出しの対象という。施設は4段階に分かれ、最高ランクの映画撮影は1日約5,500€（約71万5千円）からとか。歳入増加への期待がかかる。

La Soirée de Paris



仏・研修生
ザカリ・ブレダ君

Kochi



微笑みの貴婦人にLED

日本人のパリ観光客が必ず訪れると言われるルーブル美術館。お目当ての第一は「モナリザ」。微笑みの貴婦人の照明に日本製の発光ダイオード（LED）が導入されている。

東芝製で絵全体を均一に照らすため、自然光に近い状態で鑑賞できるだけでなく、紫外線を抑え、絵画の劣化を防ぐ効果もあるという。同館では美術館の外観のライトアップにもLEDが使われており、省エネにもつながり、日本製の面目躍如だ。

ルーブルで偽造入場券

ルーブルと言えば、美術館巡りでオルセー、オランジュリーのセーヌ川沿い3館が日本人の定番だが、新聞報道によると、そのルーブルで中国人観光客らが偽造入場券で入ろうとした事件が相次いであったという。偽造券はパリで購入したとか。隣国のベルギーでは税関当局が中国からの荷物の中に同様の入場券3,600枚を発見したとも。パリでは近郊の60の主要美術館と凱旋門、ノートルダム寺院塔、パンテオンなど史跡巡りに便利でリーズナブルなフリーパス「カルトミュゼ



(Carte Musée)」の2日券（39€約5,000円）のほか4日（54€）、6日（69€）券も売られているのだけれど…。ちなみに3館など毎月第1日曜日が無料だし、施設によっては60歳以上にはシニア割引も。



新総領事にブローソー氏



前総領事が離任あいさつ

CONSULAT GENERAL DE FRANCE A KYŌTO

在京都フランス総領事、アンスティチュ・フランセ関西館長の離任に際し、西日本での4年間に、温かいご支援、ご助力をいただきましたことを厚くお礼を申し上げます。領事業務、文化活動を通じ日仏関係の緊密度、質の高さ、そして両国が相互に抱いている計り知れない関心の高さを見極めることができました。私は日仏のパートナーシップのさらなる発展を願っております。私が心から愛する国、私を最も温かく迎えた国、日本を忘れることはありません

ん。皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。私の後任としてシャルランリ・ブローソーが赴任しました。着任を祝うとともに、この刺激的な任務での活躍を祈っております。（一部略）

フィリップ ジャンヴィエ・神山



ポーク・リエット

リエットとは、煮込んだ肉類を脂とともにペースト状にして器に詰めた料理です。カットしたフランスパンにのせて食べればワインにぴったし。今回は圧力鍋を使って時間短縮します。

●○● 材 料 ●○○ 4人分

豚のうで、または肩肉の塊（赤身の部分）	500g
豚の背脂（うで肉の脂と合わせて）	200g
水	適量
岩塩（または粗塩）	7~10g
ニンニク	小1片
白こしょう	少々
ラード（市販）	適量

●○● 作り方 ●○○

- ① 豚のうで肉は脂が付いてあれば除く
赤身は3cmの角切り、脂は背脂とともに細かく刻んでおく
- ② にんにくは軽く潰すか2等分
- ③ 圧力鍋に豚の脂を入れ火にかけて溶かしていく
- ④ 透明になり脂が出てきたら肉を入れる。表面が白くなるまで炒める
- ⑤ ここでニンニクを加え、更に炒めていく
- ⑥ 塩を入れる
- ⑦ 水を材料の半分ほど加える
- ⑧ 蓋をして、沸騰し圧力がかかってから30分ほど煮る（弱火）
- ⑨ 圧力鍋から肉を取り出し、まだ温かいうちにほぐしておく
- ⑩ 鍋に残った脂の上澄みだけをすくっておく
- ⑪ 残りの液体はキッチンペーパーで漉し、冷蔵庫で冷やす
- ⑫ ⑨のほぐした肉にこしょうをし、⑪で冷やしたものを加えて良く混ぜ合わせる
- ⑬ 次に⑩の上澄み脂を何度かに分けて加え混ぜていく
- ⑭ 器（陶器が良い）に詰めて表面を平らにし、ラードを流し、冷やして完成

私が輝く、パリジェンヌ・レッスン 島山奈保美 著



日大芸術学部演劇学科を卒業、文学座研究所を経て舞台女優、ボーカリストとして活躍後、92年渡仏。現地演劇学校代表に就任、さらに歌手、駐日仏大使館の公式パートナーなどを務めるマルチ人間の筆者。在仏20年の経験から軽妙な筆致の中にも鋭くフランスとフランス人を見つめ、ディープなパリ話を満載、異彩を放つ一冊だ。

ファッションから生き方までの6章からなり、とくにセーヌ川を境に北の右岸派、南の左岸派としてそのまま右派、左派に直結、カフェに置かれる新聞からパリっ子の政治ポリシーも推測できるとした項など硬を軟に、軟を硬に説き、興味深い。またパリジェンヌが時間にルーズで、自分勝手に謝らないことにかけては世界一とまで指摘する。自分のプライオリティー主張には驚くとも。

友人でフリーアナウンサーの中村江里子さんが帯に「同感。新発見でいっぱい」の一文を寄せている。

（ソフトバンククリエイティブ刊。B5判1,470円）

＝注文は高知日仏協会事務局で受け付けている。

「私が輝く、パリジェンヌ・レッスン」（島山奈保美）＝著者寄贈

OVNI(オヴニー)	No740~750号	大阪日仏協会会報	第31号	大阪日仏協会
日仏文化	No82	日仏会館	Lapin Blanc	Vol. 24 鳥取日仏友好協会
ARC-EN-CIEL	第38号	鎌倉日仏協会	Nouvelles	No138 日仏会館



「manga」が仏和辞典にも見られ、現代用語の基礎知識（自由国民社刊）には高知県を元祖「まんが王国」と書いています。明治以降、わが国の若き画家たちの憧れはフランスでしたが、マンガ、アニメを芸術、文化ととらえる現代のかの地の若者の日本への憧れは相当のもので、先に金沢日仏協会が開いた「フォーラム」での日仏学生の交流、熱心な討論は正直驚きでした。フランス、ベルギー、イギリスのマンガ文化への取り組みは日本を凌駕しているようにも感じました。単なる地域起こしを超えていました。まんが王国土佐とフランスの次代の接点はこれらかも…(S)

仏料理普及に貢献

田中秀典シェフに感謝状



田中さんは、1999年から14年にわたって協会報を通じ、会員にフランス料理の指導、普及に貢献し、感謝状を贈られ、思いがけないことで大変感謝しています。これからは皆さんに喜ばれるレシピを届けたいとお礼のあいさつをしました。

●○● ポイント ●○○

- ・肉をほぐす時に泡立て器などを使うとほぐれやすい
- ・⑬で脂を加えた時に脂が浮いてにじんでいるようでは脂が多い
- ・食するときは表面のラードごと切り、取り出し、ラードは除いて食べたほうが良い。（ラードは空気を遮断し、日持ちを良くするため）

LE BULLETIN de l'association franco-japonaise de Kochi

高知日仏協会 会報 numéro 38

2013年10月20日発行

発行人 〒780-0051 高知市愛宕町1-10-6 四国文教ビル2F
高知日仏協会 会長 佐竹 茂市
TEL.088-820-1006 FAX.088-820-1017
印刷所 高知市葛島1丁目10-70 株式会社高知新聞総合印刷